

28S-am03

山茱萸の高コレステロールに及ぼす検討

○後藤 英子¹, 山辺 典子¹, 横澤 隆子¹ (¹富山大和漢研)

【目的】肥満症, 糖尿病, 高脂血症, 高血圧は重積して動脈硬化症のリスクを高めている。先に演者らは、山茱萸に抗糖尿病作用を見い出しているが、本報では、高コレステロール負荷ラットを用い山茱萸の効果を検討した。

【方法】Wistar 系雄性ラットに 1.5%コレステロール食を負荷し、同時に山茱萸 (50, 100, 200 mg/kg 体重/日) を 10 日間連日経口投与した。投与前後に血圧測定を行ない、実験最終日に血液と肝臓を採取した。

【結果】血清中の総コレステロール、遊離コレステロールおよびエステルコレステロール値は、正常ラットに比べコレステロール負荷ラットで約 2.5 倍, 1.5 倍, 3 倍上昇していたが、山茱萸投与によって低下傾向を示していた。肝組織中のコレステロールも高コレステロール負荷ラットで増加していたが、総コレステロールと遊離コレステロール値は 200 mg 投与群で有意に低下していた。一方、肝機能パラメーターの ALT は山茱萸投与群で変化しなかったが、AST と脂質過酸化は山茱萸 100, 200 mg 投与群で有意に低下していた。収縮期血圧は 200 mg 投与群で有意に低下していた。

【結論】山茱萸がコレステロール負荷ラットで改善作用を示した。なお、コレステロールを含めた脂質関連因子 (PPAR, SREBP-1, SREBP-2 など) についても、報告する予定である